

平成 20 年 7 月 23 日

各 位

会社名 株式会社メディビックグループ  
代表者名 代表取締役社長 橋本 康弘  
(コード番号2369:東証マザーズ)  
問合せ先 人事総務部長 平山 貴之  
(Tel: 03 - 6744 - 2882)

## メディビック、「DNAプライベートバンク」サービスに新メニュー ～血栓症リスク検査を追加、平成20年7月25日より予約受付開始～

このたび、当社の子会社である株式会社メディビックは、「DNAプライベートバンク」サービスに血栓症リスクを推定する検査を追加し、平成20年7月25日より予約受付を開始いたしますのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 追加メニュー内容

血栓症の原因である血栓とは、血液中の血小板などが集まり固まったもので、主に、血管が傷ついた場合などに修復して出血を止める働きをします。しかし、この血栓が大きく成長しすぎると、血管を塞いでしまい血液の流れにくくしたり、大きくなった血栓がちぎれ血液中を流れることによって細い血管を詰まらせてしまうという作用を引き起こしたりします。血管が詰まると、それより先の細胞に血液を送ることができなくなり、その先の細胞を壊死させてしまう、血栓症・塞栓症を起こします。

血栓症は、血栓によって血管を詰まらせる事で病気を引き起こします。例えば心臓の心筋細胞に血液を送る血管が詰まると『狭心症』『心筋梗塞』、脳細胞に血液を送る血管が詰まると『脳塞栓』などです。

また、長時間同じ姿勢で座ったりしているときに注意したい『旅行者血栓症（通称、エコノミー症候群）』という身近なものもあります。長時間足を動かさないでいると、足の血管で血液が滞留してしまい、血栓ができやすくなります（『旅行者血栓症：深部静脈血栓症』と言います）。ここでできた血栓が血流に乗り心臓・肺へと運ばれると、肺はこの血栓が最初に出くわす細い血管がある為、この血管で血栓が詰まり、『旅行者血栓症：肺塞栓症』等を発症するのです。

これら血栓症から引き起こされる疾患は、いずれも直接人の生命に大きな影響を与える恐れがあります。

通常は血栓ができて、その後血栓は溶けて血流は回復しますが、血管の内腔が狭まる動脈硬化が進んでいたり、何かしらの原因によって血流が滞ると、血栓はできやすい上に溶けにくい環境が生まれてしまいます。つまり、血栓を溶かす機能が重要になってきます。

そこで、今回「DNA プライベートバンク」では、遺伝子体質を検査し、各疾患を引き起こす血栓症にならないための、個人の体質にあった継続的な予防・健康管理をサポートしていく、遺伝子検査メニュー「血栓症リスク検査」を追加することといたしました。

こちらの検査では、もともと私たち人の持つ、血栓を溶かす機能の一部が働きにくい体質であるかどうかを調べる事ができます。この血栓を溶かしにくい体質を持つ人は、その分血栓症になるリスクが高いため、生活習慣の中で『肥満』『高脂血症』『高血圧』などを始めとした、血栓症を引き起こすリスクを少しでも減らすよう、「DNA プライベートバンク」がお客様の生活習慣・環境の改善を支援してまいります。

## 2. 「DNA プライベートバンク」の遺伝子検査サービス項目

本日現在の「DNA プライベートバンク」の遺伝子検査サービス項目は、以下になります。

### 遺伝子検査一覧

	遺伝子検査項目	疾患 関連	がん 関連	メタボ 関連	認知症 関連	加齢 関連	外見 関連	薬剤 関連	サービス 開始
1	大腸がん								9月より 開始(新規)
2	前立腺がん(男性) 乳がん(女性)								9月より 開始(新規)
3	心筋梗塞*1)								
4	糖尿病								
5	肥満								
6	アルツハイマー*2)								
7	血栓症								9月より 開始(新規)
8	腰痛症 (加齢性関節痛)								
9	黄斑変性症 (加齢性眼科疾患)								
10	くすりの副作用								

\*1)あるタイプを持っている人は、カフェインにより心臓発作や心筋梗塞のリスクが高くなる事が知られています。

\*2)あるタイプを持っている人は、アルツハイマー病の発症リスクだけでなく冠動脈疾患のリスクも高いことが知られています。人口比率は低いです。

オプション遺伝子検査一覧（\*別途、追加検査費用が発生します）

	遺伝子検査項目	疾患 関連	がん 関連	メタボ 関連	認知症 関連	加齢 関連	外見 関連	薬剤 関連
A1	糖尿病							
A2	肥満							
A3	男性型脱毛症							
A4	ワルファリンカリウムの 初期持続容量設定への 指標検査							
A5	アルコ-ル反応*1)							

\*1)あるタイプを持っている人は、食道がんのリスクが高くなることが知られています。

メディビックは、今後も遺伝子検査に基づいた疾患リスク管理や予防に関する「DNAプライベートバンク」のサービス項目を追加していく予定です。現在開発中のものに関しましては、準備が整い次第順次提供してまいります。

3. 「DNAプライベートバンク」に関するお問い合わせ先・公式サイト

株式会社メディビック DNA プライベートバンク事務局

E-mail [DNApb@medibic.com](mailto:DNApb@medibic.com)

電話 03-6744-2566

公式サイト <http://www.dna-pb.jp>

【本件に関するお問い合わせ先】  
IR / 広報グループ：石川・島田  
Tel：03 - 6744 - 2882  
E-mail： [ir\\_info@medibic.com](mailto:ir_info@medibic.com)

「DNAプライベートバンク」とは

「DNAプライベートバンク」とは、遺伝子検査をもとにして病気のリスクを始めとした体質を判断し、それぞれのお客様に合わせた健康管理を継続的に支援するサービスです。

当社グループは、主に製薬企業を対象として、遺伝子検査を伴う新薬開発支援の事業を行っています。「DNAプライベートバンク」は、製薬企業向けの高度な技術やノウハウを援用することで、個人のお客様向けにより安心・安全なサービスの提供を可能としています。

「DNAプライベートバンク」では、まずDNAを検査し、お客様の体質を特定します。同時にDNAの情報はセキュリティーの高い施設で厳重に保管されます。指定医療機関の医師が、検査結果に基づいたリスク判断を行い、メディビックからはお客様個々の体質に関する情報や疾患リスクなどの情報を提供します。さらには、体質に基づいた健康管理を促進する、さまざまな情報や製品・サービスなども提供します。お客様に自分の体質に合ったより快適な健康管理や予防を望めるようになります。

当社グループの提供する「DNAプライベートバンク」は、遺伝子検査を利用したテーラーメイド健康支援ビジネスで、従来のビジネスには見られなかった社会貢献型の全く新しい形のサービスといえます。

株式会社メディックグループ

当社グループは、個人の体質に合わせて副作用の少なく効果の高い薬を処方できるテーラーメイド創薬の実現を目指す企業です。具体的には、医薬品開発や研究などを行う製薬企業や研究機関などに対し、個別化医療やテーラーメイド創薬を推進するサービスや製品を提供しています。

薬の効き目の個人差を示す体質は、遺伝子によって決められています。個人の遺伝子タイプが分かれば、体質に合ったより効果の高い薬を選択し処方することができます。また、投薬前に効果を確認することで、副作用も最小限に留めることができます。そのために、製薬企業では遺伝子と薬の関係を調べて医薬品開発をするようになってきています。そのために必要となるのが、PGx試験です。導入企業は年々増加しています。

当社グループは、PGx試験を総合的・戦略的に支援できる体制を整えています。当社グループが独自に築いた、バイオ最先端の技術・情報網、そして医療機関・製薬企業などとの幅広い人的ネットワークの活用により、PGxに対するニーズを的確に掴み、顧客の要望に適した満足度の高いサービスを提供しています。

当社グループは、PGx試験を総合的・戦略的に支援できるユニークな存在として実績を積み重ねることにより、圧倒的に優位なビジネスポジションを築いています。

当社グループに対する詳細な情報は、<http://www.medibic.com> をご覧ください。

以 上